

## 市区町村における健康教育

### A. 高血圧に関する教育

1. 管轄地域内に高血圧に関する教育を行っている団体があると認識している市区町村は少ない。そのような公的・私的病院があると答えた市区町村は 1 割以下である。内容はほとんど把握されていない。(図 49、50)

図49. 高血圧の健康教育を行っている団体

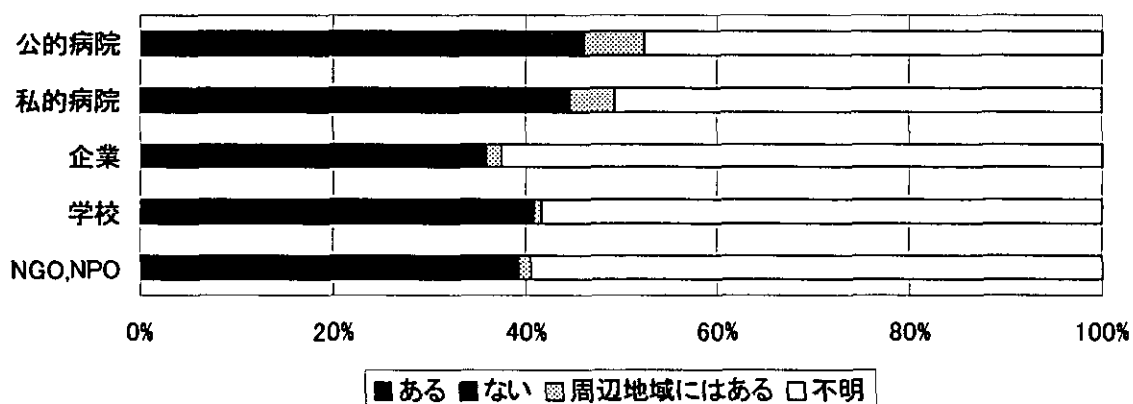
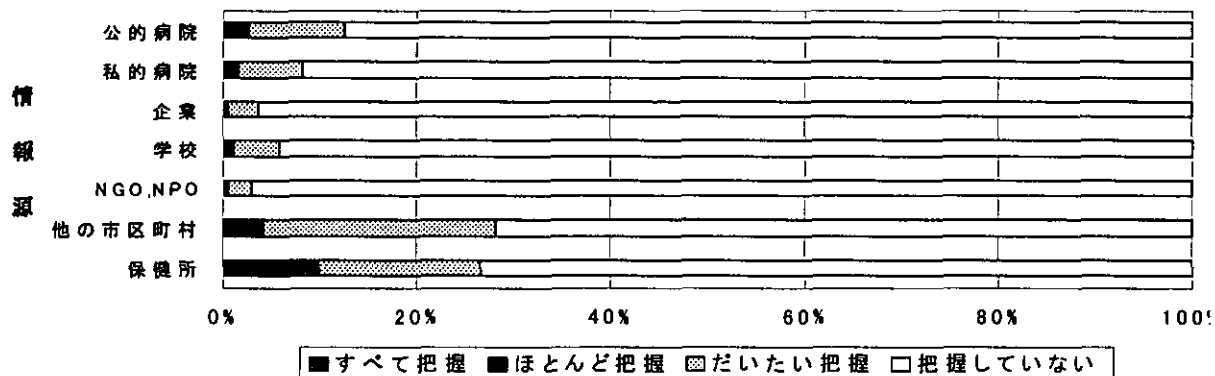
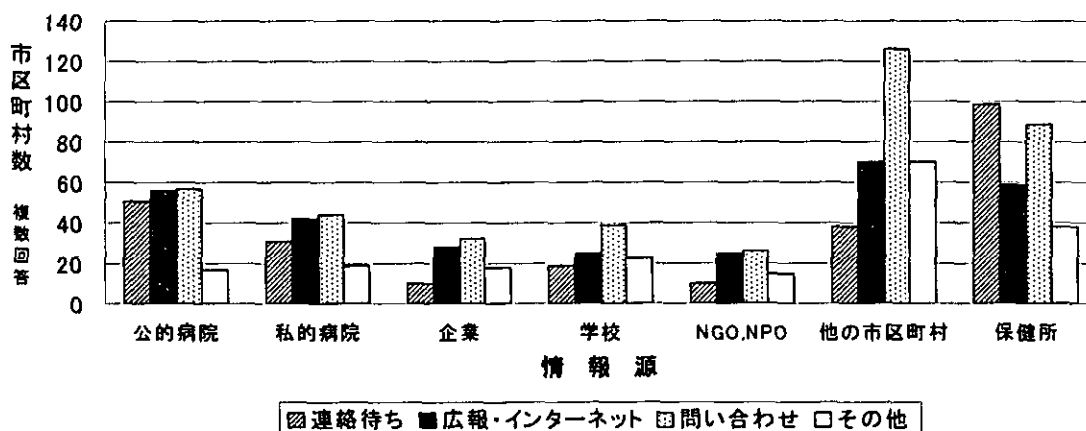


図50. 情報の把握



2. 他の市区町村と保健所からの情報が多い。公的病院がそれに次ぐ。

図51. 情報収集の方法



3. 教育団体を紹介しない市区町村が3割ある。教育を行っている団体の認識率の低さと関係していると思われる。紹介後の検討を行った市区町村は6割に満たない。

(図52、53)

図52. 高血圧教育団体の紹介

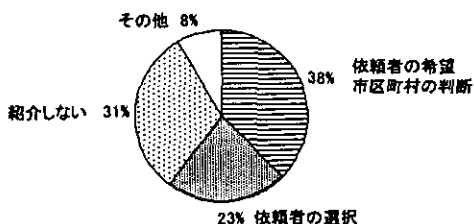
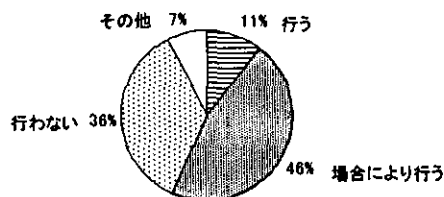


図53. 紹介後の検討



4. 今後の情報源としては公的・私的病院、他の市区町村、保健所などである。今後の情報提供には消極的である。

(図54、55)

図54. 今後の積極的な情報収集

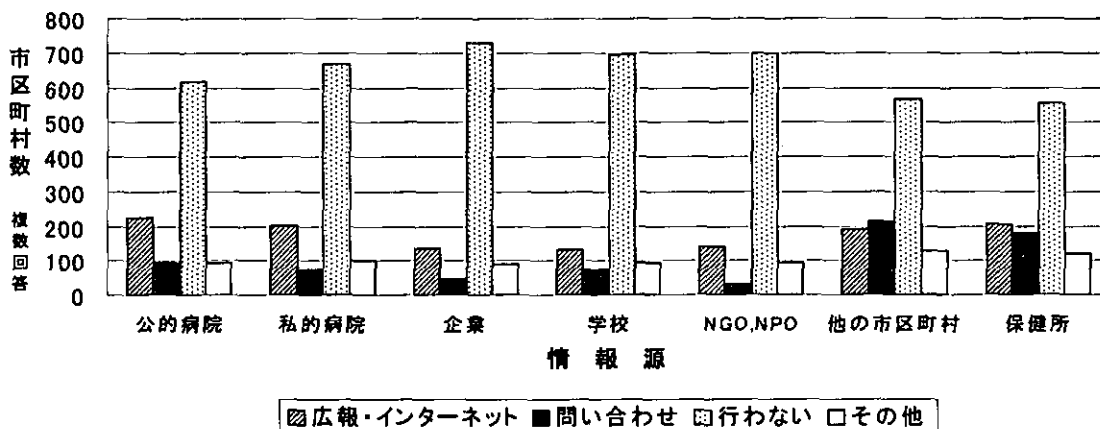
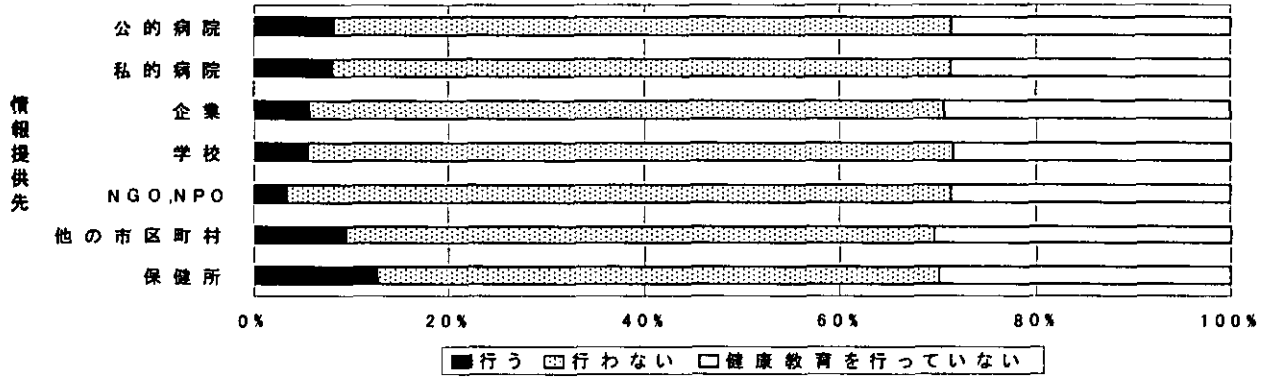
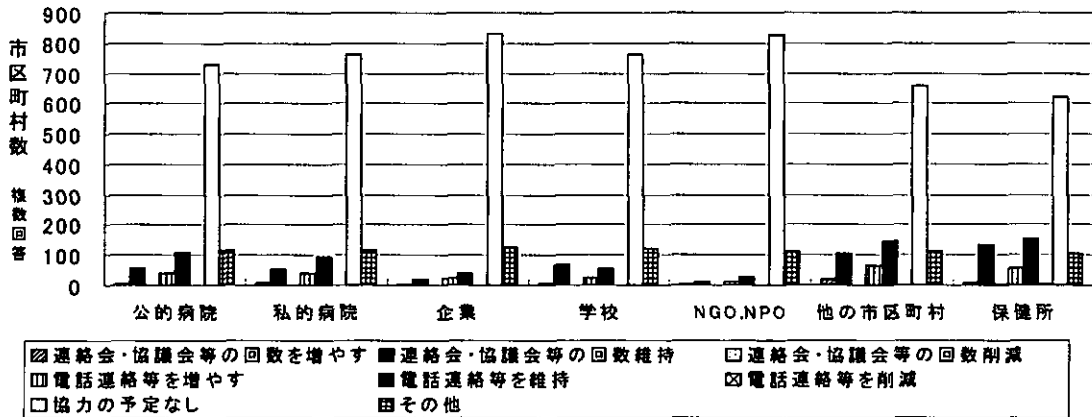


図 55. 今後の積極的な情報提供



5. 今後の協力体制は、公的・私的病院とは電話連絡等を維持し、他の市区町村・保健所とは会議・電話連絡等の維持が挙げられているが、全体的に消極的である。

図 56. 今後の協力体制



B. 糖尿病に関する教育

1. 公的・私的病院による教育が認識されている。内容はあまり把握されていない。

(図 57、58)

図 57. 糖尿病の健康教育を行っている団体

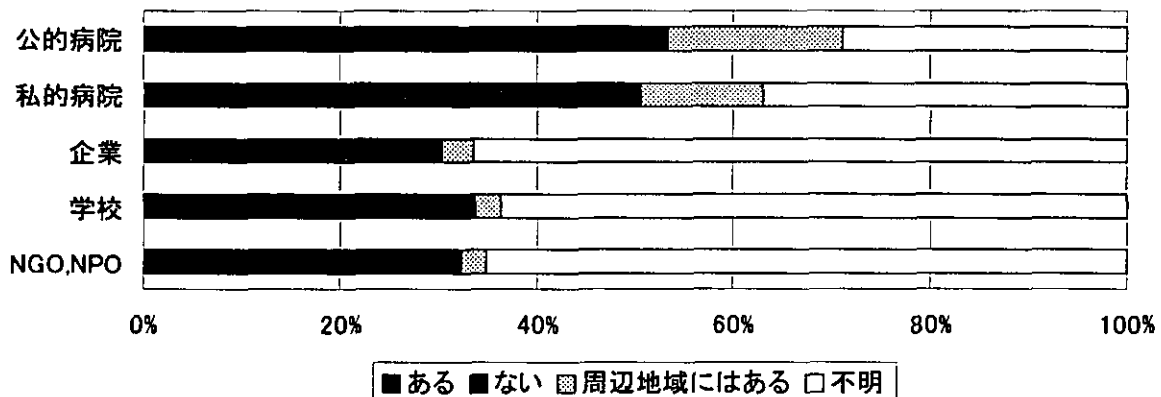
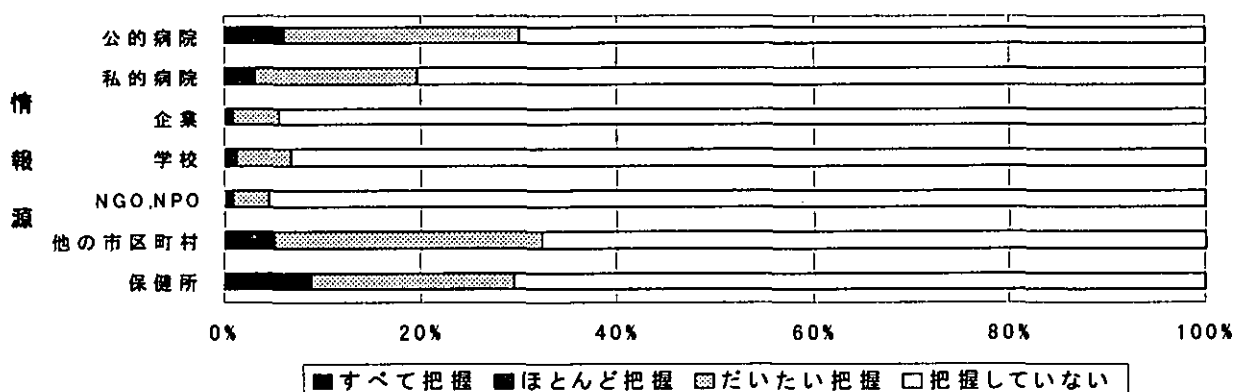
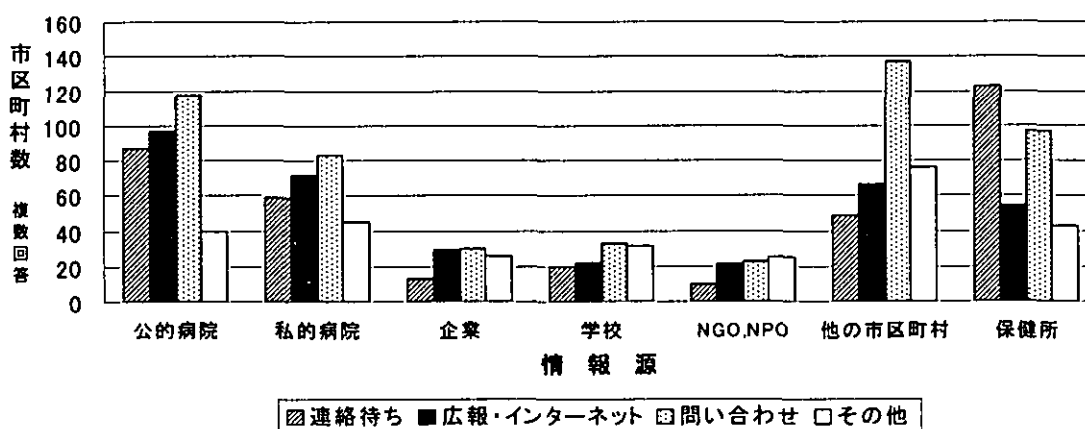


図58. 情報の把握



2. 他の市区町村・保健所・公的病院に問い合わせ、保健所からの連絡がある。公的病院の広報・インターネットと連絡も多い、という傾向である。

図59. 情報収集の方法



(図 60、61)

図60. 糖尿病教育団体の紹介

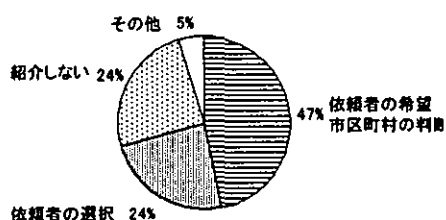
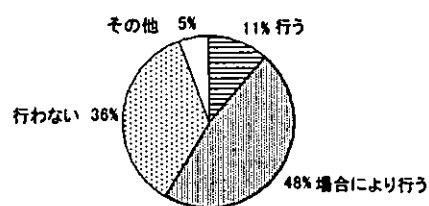


図61. 紹介後の検討



4. 今後は公的病院の広報・インターネット、他の市区町村・保健所の広報・インターネットおよび問い合わせによる情報収集が計画されているが、情報提供は消極的である。

(図 62、63)

図62. 今後の積極的な情報収集

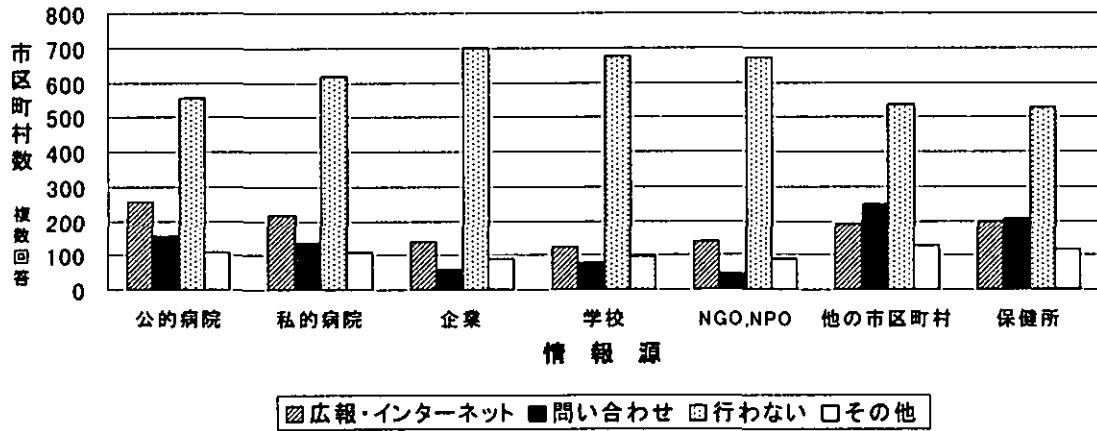
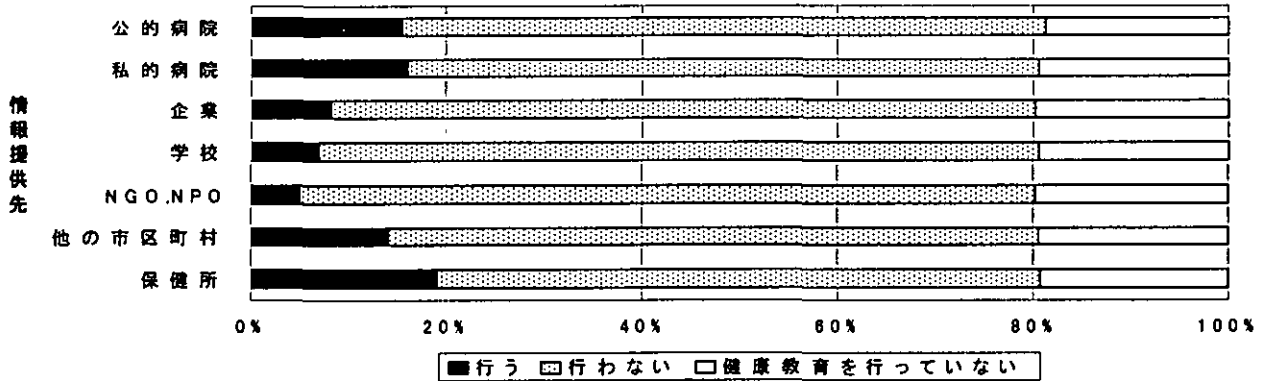
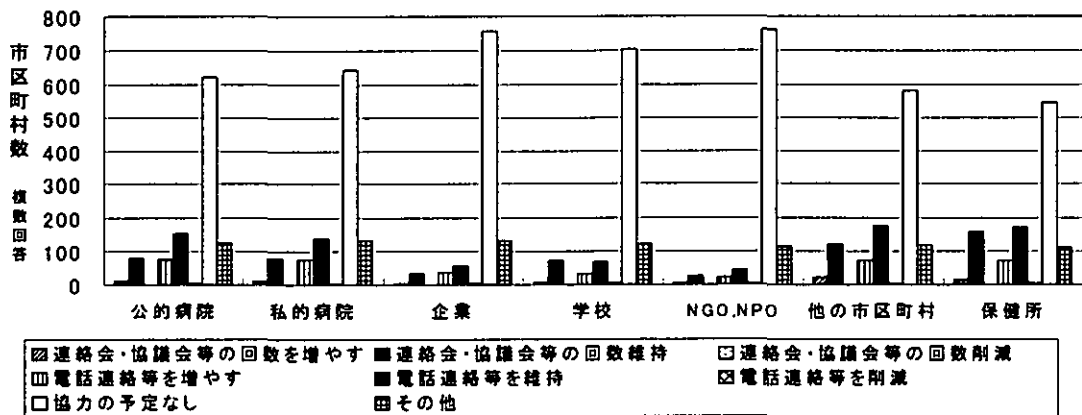


図63. 今後の積極的な情報提供



5. 今後は他の市区町村・保健所・公的私的病院との会議・電話連絡等の維持と電話連絡等を増やす傾向が見られる。

図64. 今後の協力体制



C. 高脂血症に関する教育

1. 教育団体の認識率、内容の把握ともに低い。

(図 65、66)

図65. 高脂血症の健康教育を行っている団体

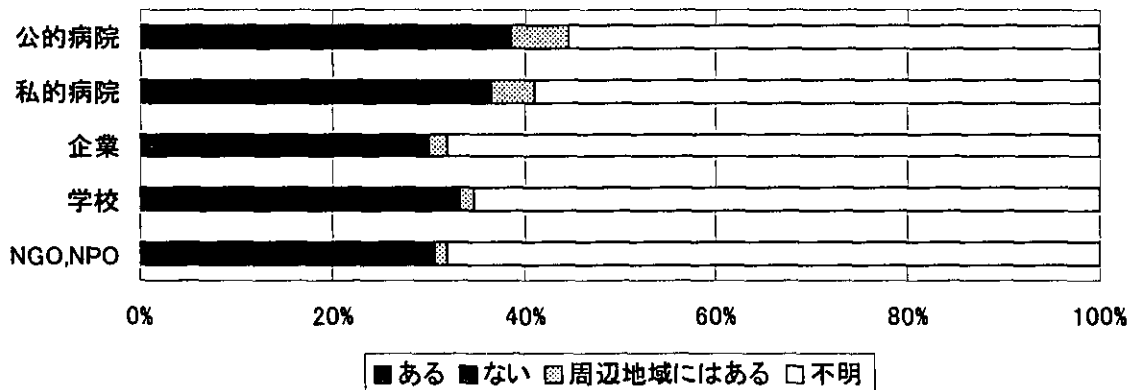
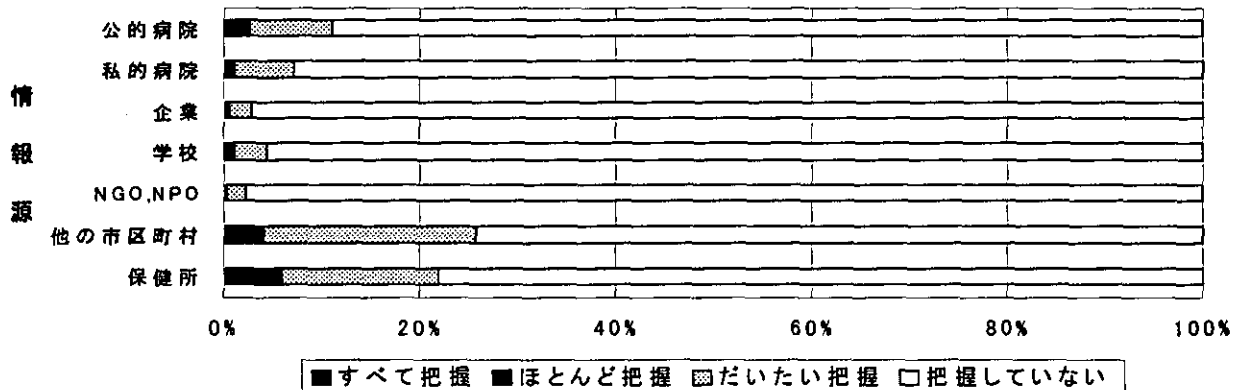
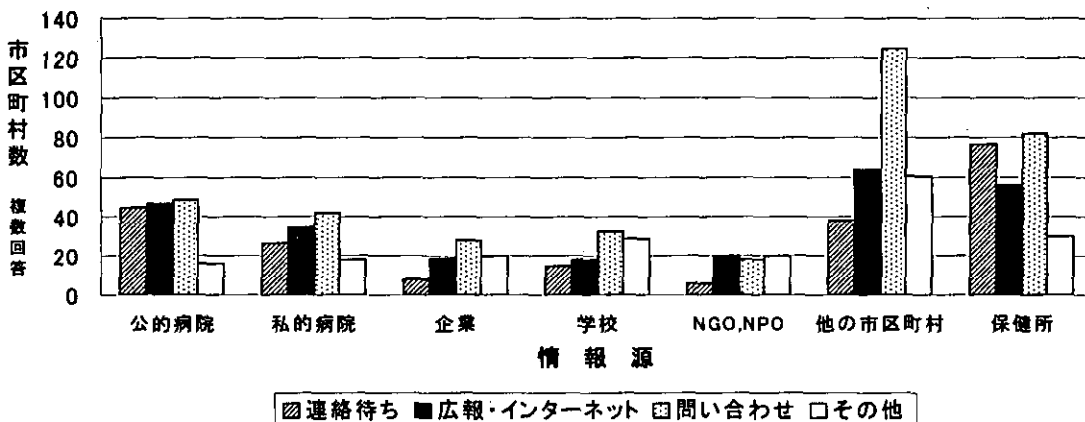


図66. 情報の把握



2. 情報は他の市区町村と保健所からのものが多い。

図67. 情報収集の方法



3. 教育団体の紹介は6割強の市区町村が行っており、紹介後の検討は積極的ではない。

(図 68、69)

図68. 高脂血症教育団体の紹介

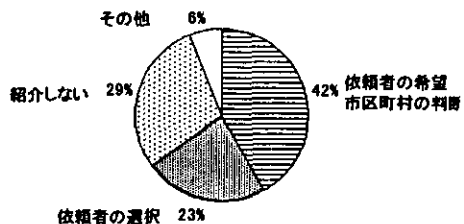
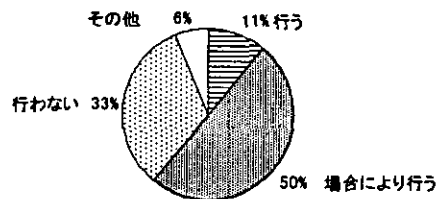


図69. 紹介後の検討



4. 今後の情報収集・情報提供とも消極的である。

(図 70、71)

図70. 今後の積極的な情報収集

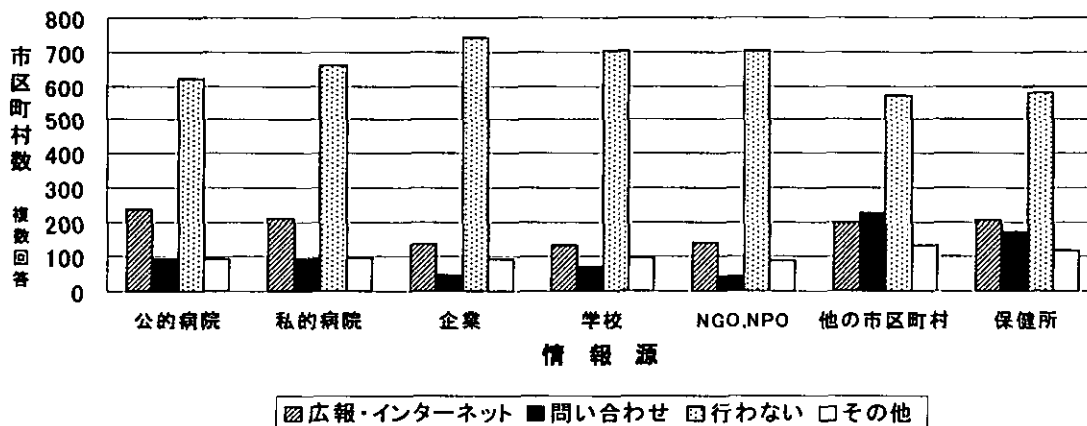
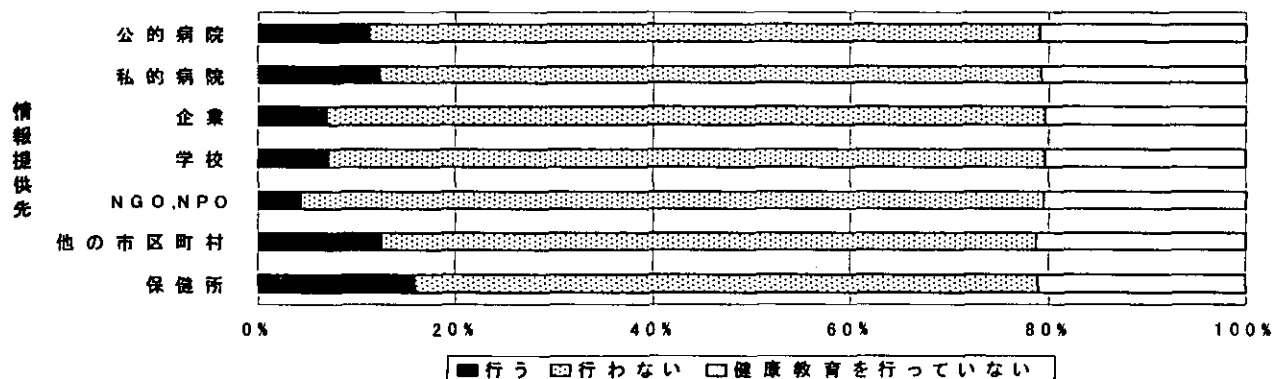
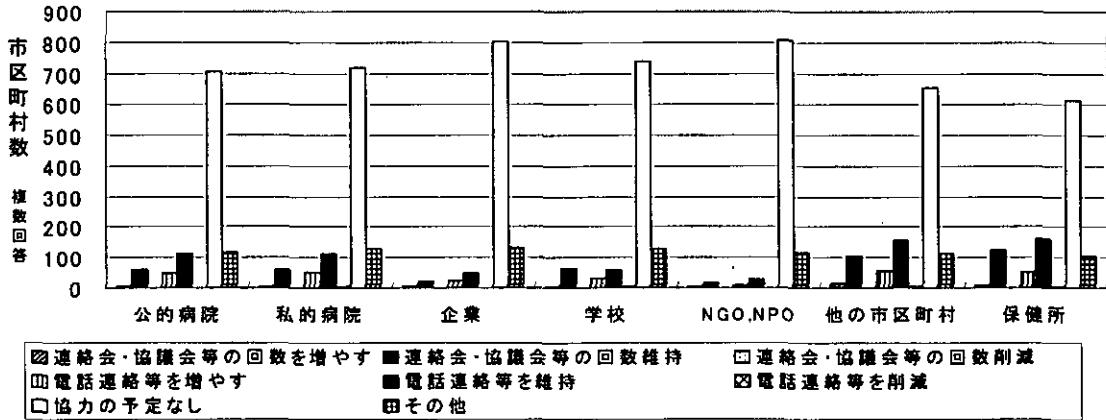


図71. 今後の積極的な情報提供



5. 他の市区町村、保健所および公的・私的病院と主に電話連絡等を維持する傾向である。

図72. 今後の協力体制



D. 骨粗鬆症に関する教育

1. 教育団体の認識、情報の把握ともきわめて低い。

(図73、74)

図73. 骨粗鬆症の健康教育を行っている団体

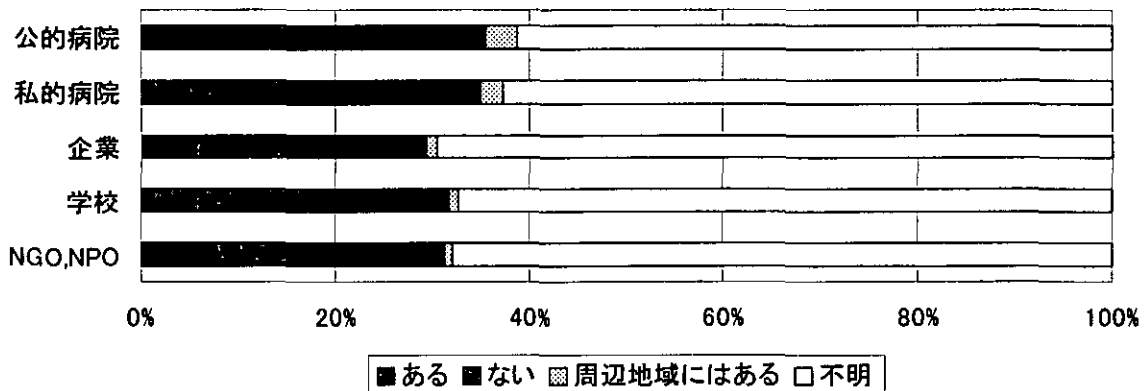
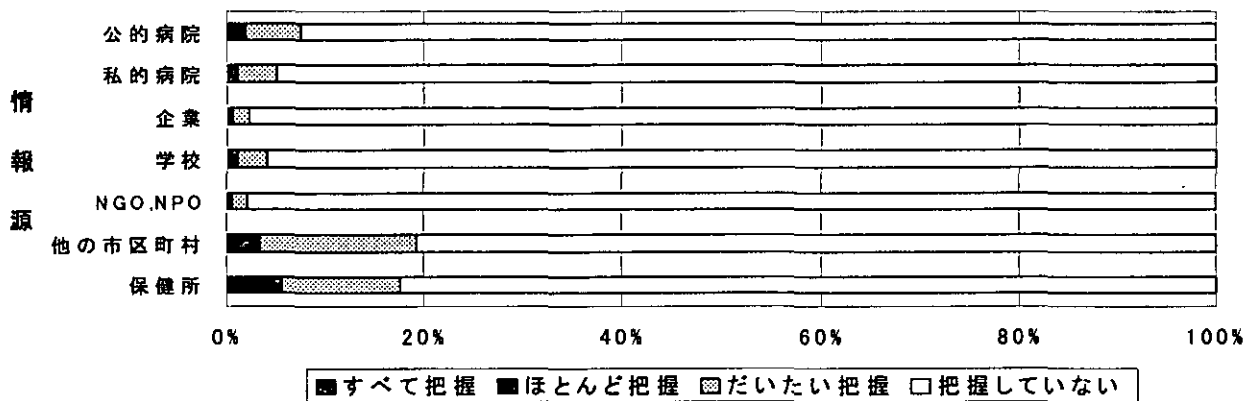


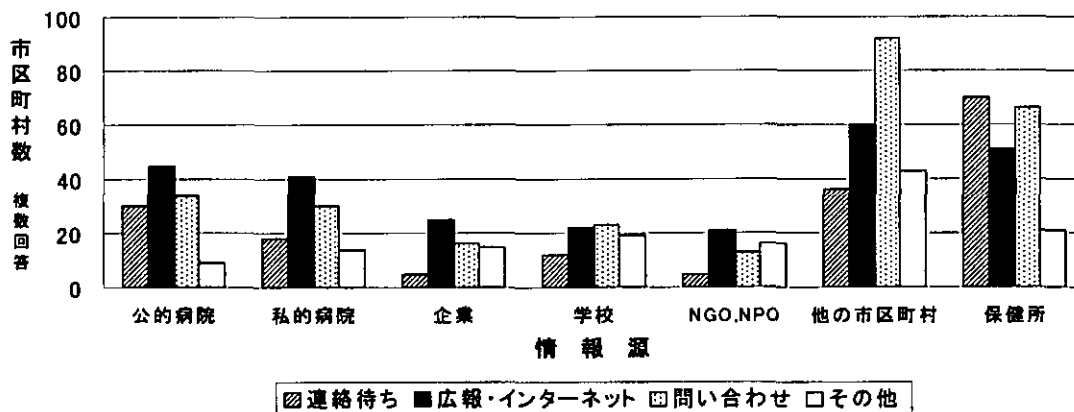
図74. 情報の把握





2. 他の市区町村と保健所よりの情報が主である。

図75. 情報収集の方法



3. 教育団体の紹介は6割強の市区町村で行われ、紹介後の検討は積極的ではない。

(図76、77)

図76. 骨粗鬆症教育団体の紹介

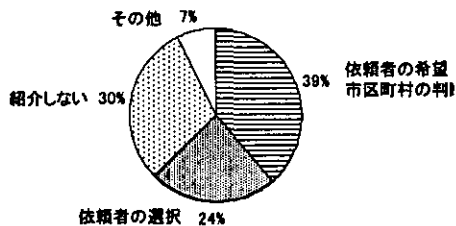
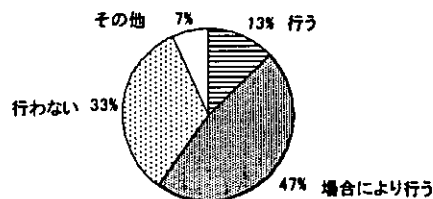


図77. 紹介後の検討



4. 今後の情報収集・情報提供ともに積極的ではない。

(図78、79)

図78. 今後の積極的な情報収集

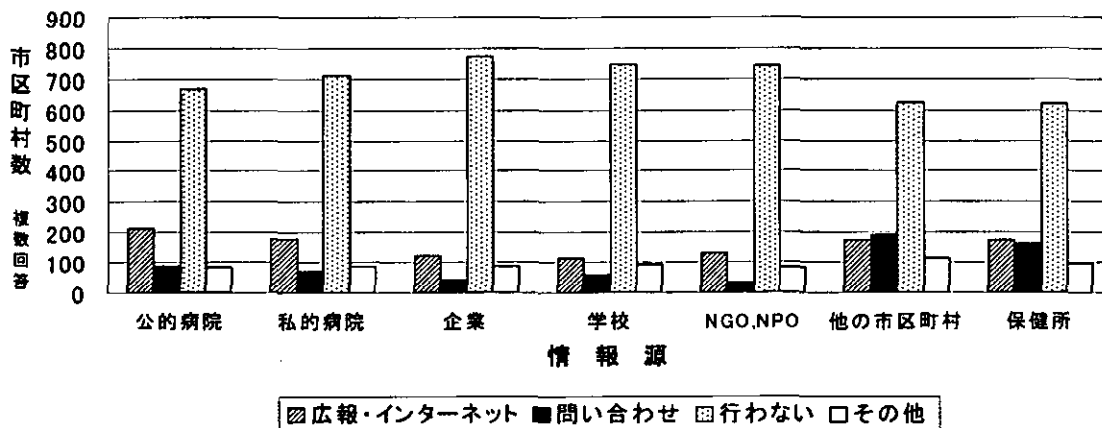
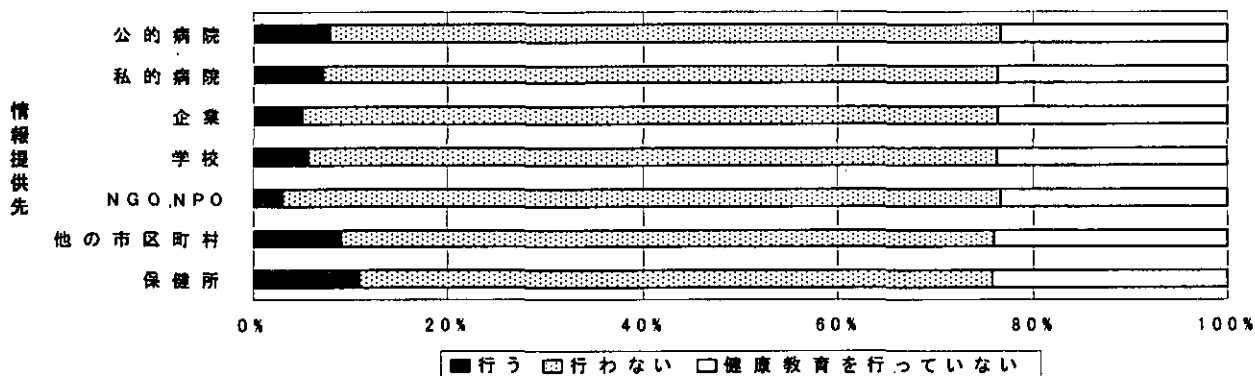
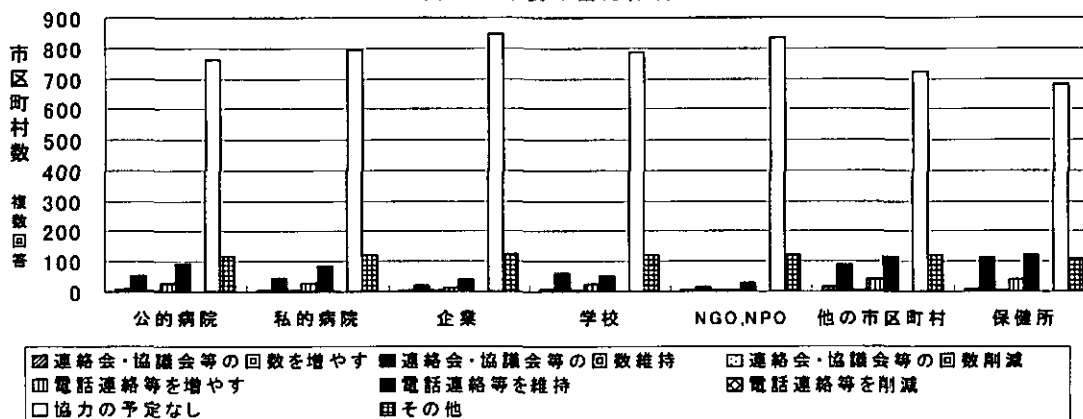


図79. 今後の積極的な情報提供



○. 今後は他の市区町村、保健所とは云議・電話連絡等の維持。公的・私的病院とは電話連絡等の維持という傾向である。

図80. 今後の協力体制



## E. 禁煙に関する教育

1. 学校における教育が比較的良好に認識されているが、保健所より認識率はかなり低い。内容はよく把握されていない。(図81、82)

図81. 禁煙の健康教育を行っている団体

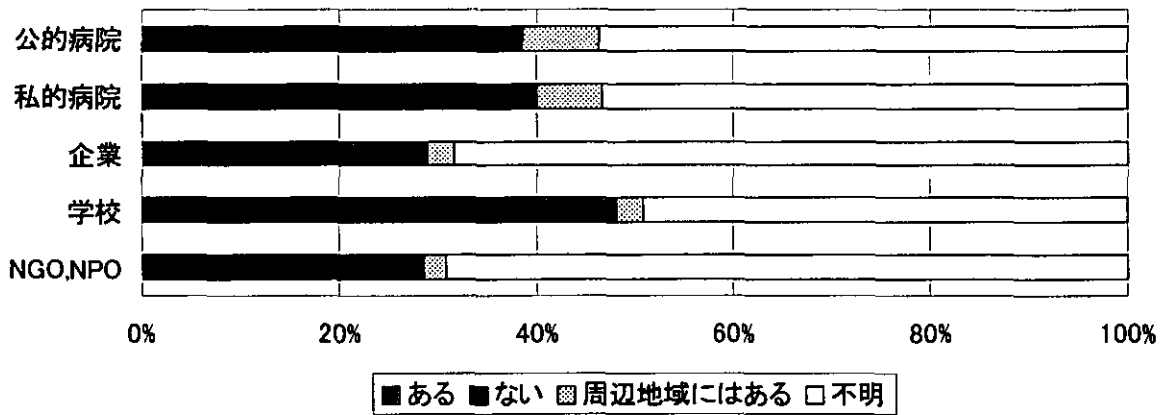
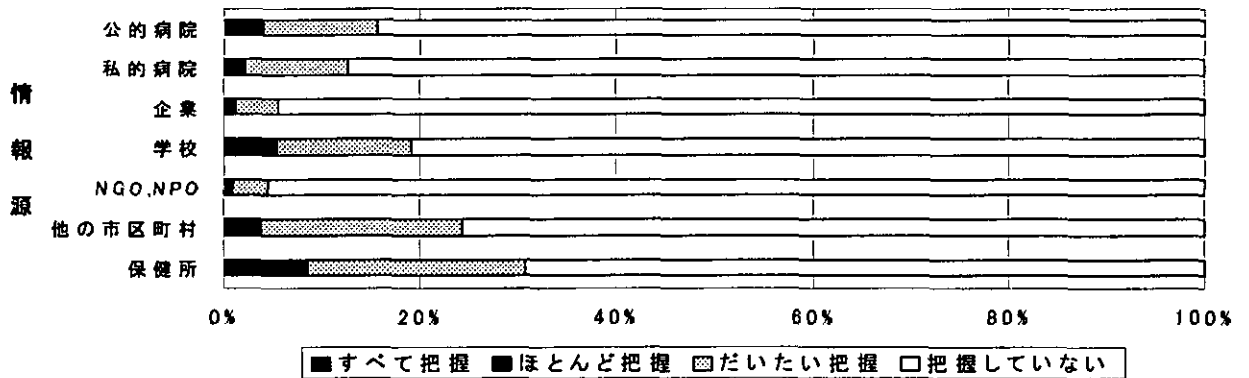
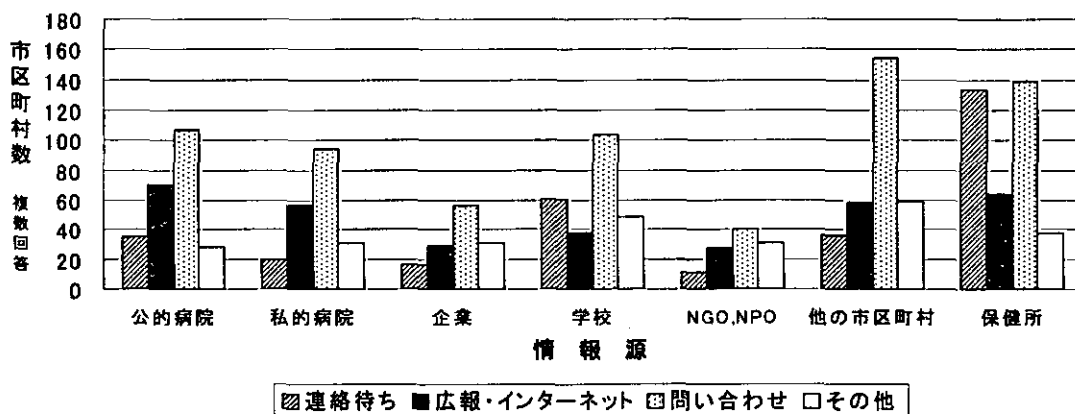


図82. 情報の把握



2. 他の市区町村と保健所からの情報が多い。

図83. 情報収集の方法



3. 7割を超える市区町村が教育団体の紹介を行っているが、紹介後の検討を積極的に行う市区町村は多いとは言えない。

(図84、85)

図84. 禁煙教育団体の紹介

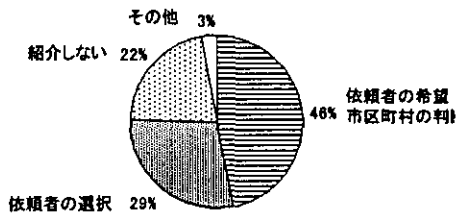
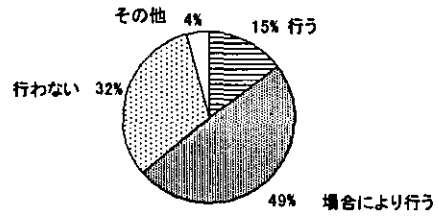


図85. 紹介後の検討



4. 今後の情報源としては、公的・私的病院と他の市区町村、保健所が多く、学校がそれらに次ぐ。情報提供先としては学校、保健所が多い。学校からは積極的な問い合わせがあるものと思われる。

(図 86、87)

図86. 今後の積極的な情報収集

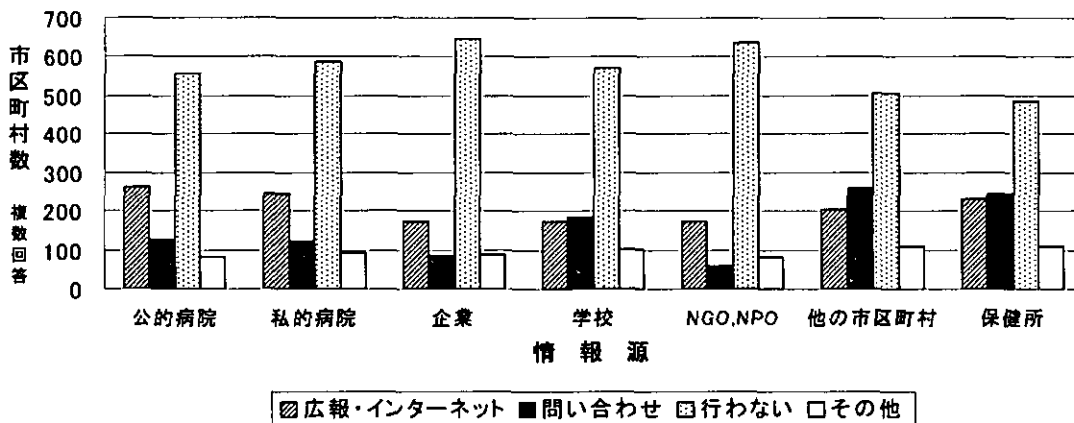
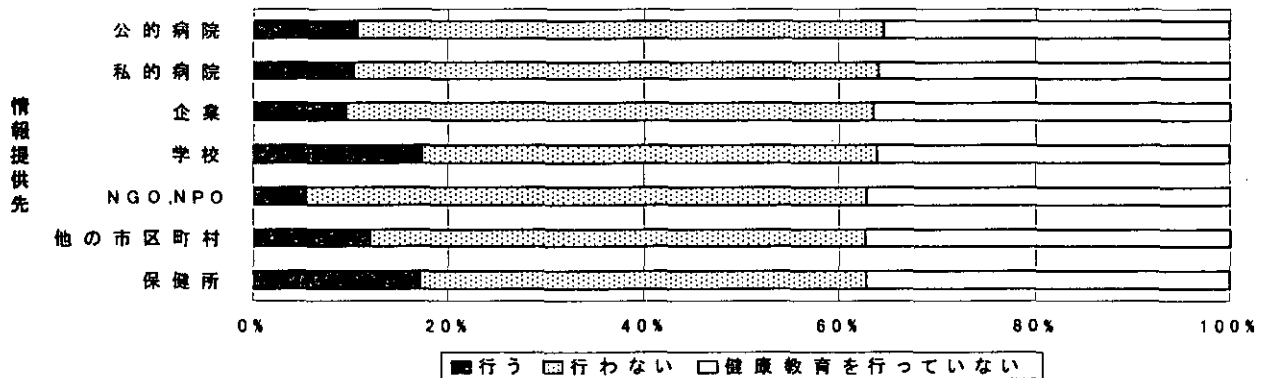
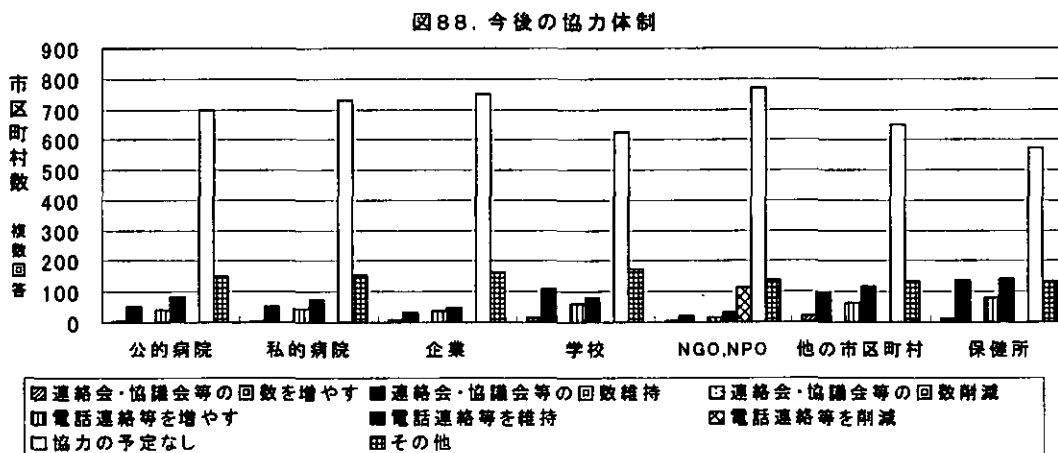


図87. 今後の積極的な情報提供



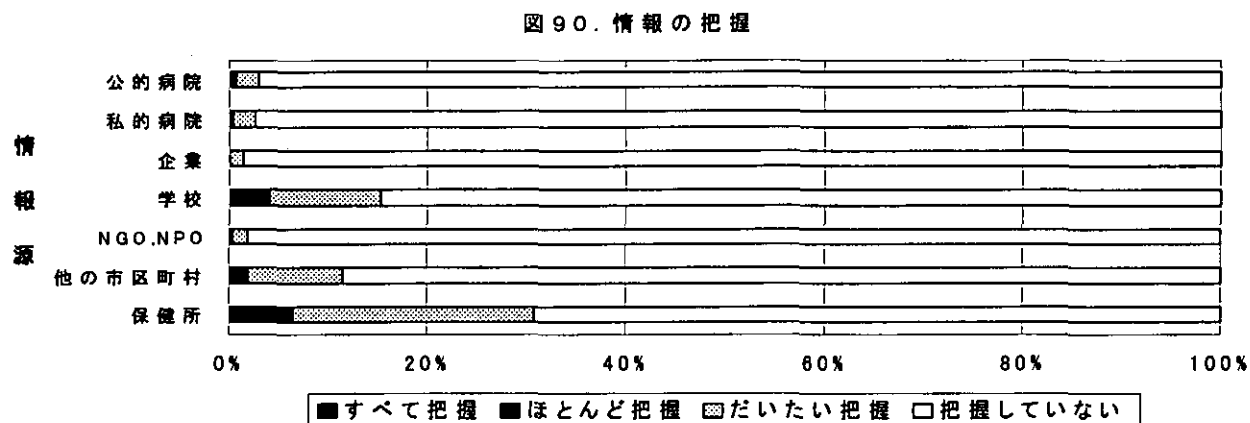
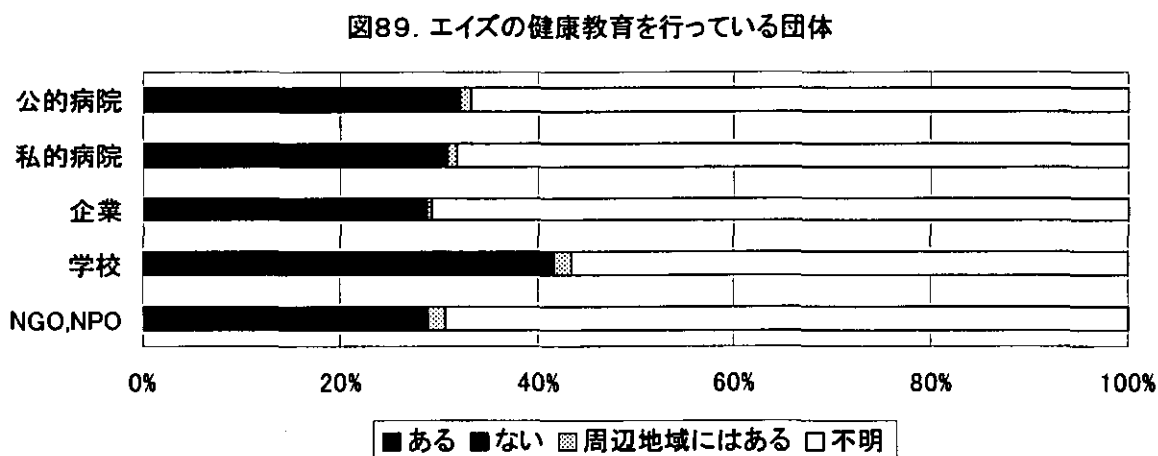
5. 今後は他の市区町村と保健所とは現状維持。学校とは会議を増やす方向がやや多く、特徴的である。



### F. エイズに関する教育

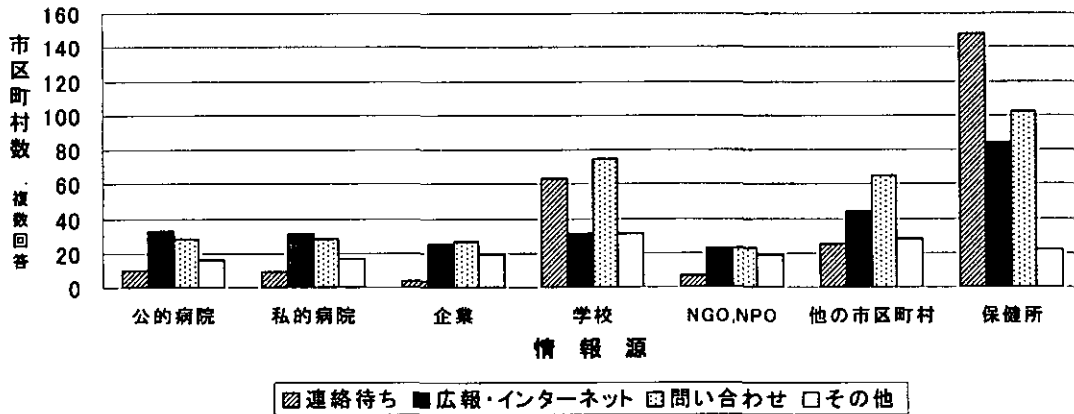
1. 学校での教育の認識率が他の団体に比べて高い。ただし内容はあまり把握されていない。

(図 89、90)



2. 保健所からの情報が多い。他の市区町村と学校からの情報がこれに次ぐ。

図91. 情報収集の方法



3. 教育団体の紹介は7割以上の市区町村で行われている。依頼者の希望および市区町村の判断によるものの割合が、他の健康教育に比べてやや高い。紹介後の検討は積極的とは言えない。

(図 92、93)

図92. エイズ教育団体の紹介

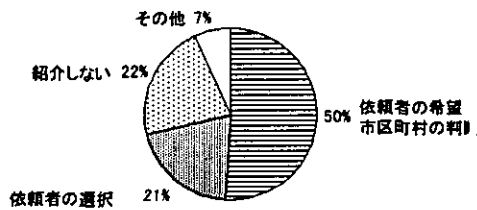
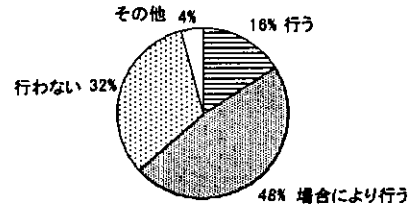


図93. 紹介後の検討



4. 今後の情報源、としては保健所が挙げられているが、多くはない。情報提供先は学校がやや多いが全体として少ない。

(図 94、95)

図94. 今後の積極的な情報収集

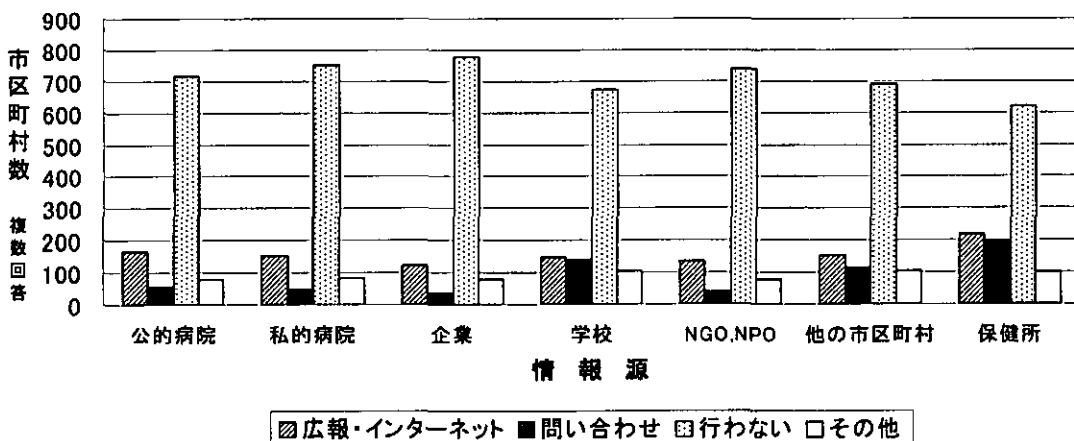
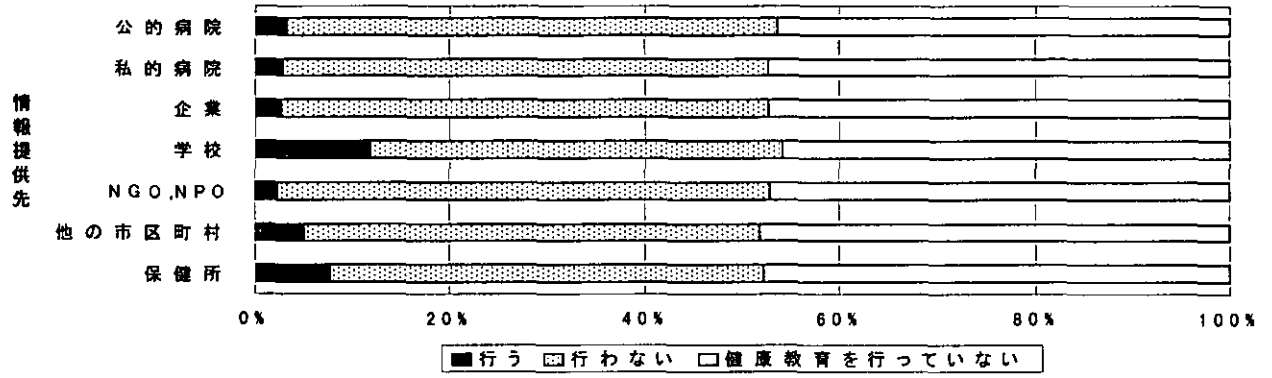
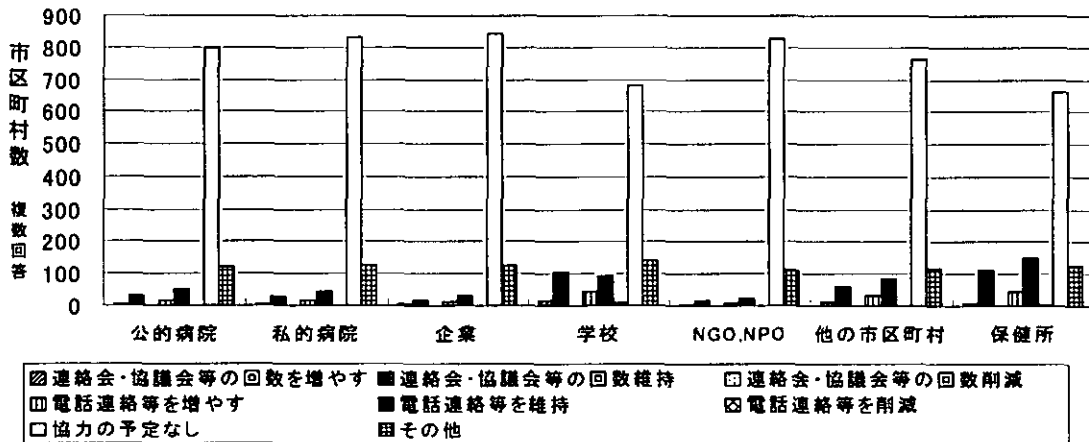


図95. 今後の積極的な情報提供



5. 今後は保健所、学校、他の市区町村との現状維持体制という傾向である。

図96. 今後の協力体制



## まとめ

市区町村と保健所、公的医療機関、私的医療機関、企業、学校、NGO,NPO、他の市区町村との、健康教育に関するネットワークについて検討した。

現状では、健康教育の種類により特徴が見られる。

1. 他の市区町村と保健所との情報交換が主であるもの：高血圧、高脂血症、骨粗鬆症
2. 他の市区町村と保健所に加え、医療機関との情報交換が多いもの：糖尿病
3. 他の市区町村と保健所に加え学校との情報交換が多いもの：エイズ
4. 他の市区町村と保健所、医療機関に加え、学校との情報交換が多いもの：禁煙

エイズ以外では保健所よりも他の市区町村を挙げる市区町村が多い。また、NGO,NPO との情報交換はいずれの種類健康教育でも多くはない。

今後の協力体制での特徴としては、

1. 他の市区町村と保健所との現状維持：高血圧、高脂血症、骨粗鬆症
2. 他の市区町村と保健所に加え、医療機関との現状維持：糖尿病
3. 保健所と学校との現状維持：エイズ
4. 他の市区町村と保健所に加え学校との現状維持：禁煙

会議や電話連絡等を積極的に増やそうという傾向は少ない。エイズの健康教育に関しては他の市区町村との協力体制には消極的である。



## 総括

保健所と市区町村を中心に公的医療機関、私的医療機関、企業、学校、NGO,NPO との健康教育ネットワークについて調査した。

保健所はほとんどの種類の健康教育に関して、市区町村とはよく情報交換を行っている。それに加えて、禁煙、エイズなどのように、他の団体とも情報交換を行っている種類の教育もある。また、糖尿病の教育に関しては医療機関との情報交換が主である。今後の協力体制も現状をさらに発展させる方向である。保健所が地域における健康教育で重要な役割を担っていることがわかった。

市区町村は全ての種類の健康教育で保健所と情報交換を行ってはいるが、エイズの教育を除いては、他の市区町村との情報交換を挙げる市区町村が多い。また、企業やNGO,NPO との情報交換は非常に少ない。今後の協力体制としては、現状維持が多い。

## 研究班

### 主任研究者

中原 俊隆 京都大学大学院医学研究科 教授

### 研究協力者

里村 一成 京都大学大学院医学研究科 助教授

岩永 資隆 京都大学大学院医学研究科 助手

野網 恵 京都大学大学院医学研究科 研究生

# 資 料

# 市区町村・保健所における健康教育のネットワークの実状に対する調査

2004年 1月

平成15年度 がん等健康科学総合研究

研究代表者 中原俊隆 (京都大学医学部公衆衛生学教授)

この調査は、厚生労働科学研究の一環として、全国の保健所・市区町村における健康教育のネットワークの現状と今後を調査するのが目的です。

お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、ご回答いただきました内容につきましては統計的に処理いたしますので、貴保健所・市区町村の名称が公表されることは絶対にありません。ありのままをお答えくださるようお願いいたします。

本調査表は御記入後、同封の封筒にて 2月16日(月) までにご投函くださいますよう重ねてお願いいたします。

お問い合わせ先 京都大学医学部公衆衛生学教室 里村一成、岩永資隆

電話：075-753-4467 fax：075-753-4466

email：satomura@pbh.med.kyoto-u.ac.jp

## 御記入について

1. 回答は平成15年度についてお願いいたします
2. もっともよく当てはまるものを選び、表内または枠内に記入してください
3. 当てはまらない場合は「－(横棒)」をご記入ください。またコメント等がございましたら欄外にご記入ください
4. 表内の保健所は、貴保健所以外の保健所とお考えください。

貴保健所名 \_\_\_\_\_ 都道府県 \_\_\_\_\_ 保健所 \_\_\_\_\_

管轄地域数 \_\_\_\_\_ 市 \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 村 \_\_\_\_\_

## A. 高血圧の健康教育についてお答えください

1. 高血圧の健康教育を行っている以下の団体がありますか

(周辺とは管轄地域の住民が容易に利用できる地域とお考えください)

- ① 管轄地域内にそのような団体がある
- ② 管轄地域内にはそのような団体はなく、周辺地域にもない
- ③ 管轄地域内にそのような団体はないが、周辺地域にはある
- ④ 不明

公的病院		私的病院		企業	
学校		NGO,NPO		その他( )	

2. 下記の団体が開催する高血圧の健康教育の情報(開催日や開催場所、教育方法)を把握されていますか。周辺地域の団体も含めてお答えください。

- ① すべて把握している
- ② ほとんど把握している
- ③ だいたい把握している
- ④ 把握していない

公的病院		私的病院		企業		学校	
NGO,NPO		市区町村		他の保健所		その他( )	

上記2. の質問で④の回答の方は 6. 以降の回答をお願いいたします。(3. ~ 5. までは、とばしてください)

上記2. の質問で①~③の回答の方は 3. 以降の回答をお願いいたします